

令和元年度「事業報告」

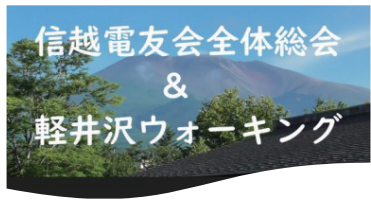
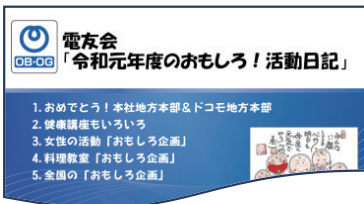
令和元年度の実業運営については、①仲間づくりと楽しい電友会活動の実践、②ボランティア活動等による世の中への貢献、③NTTとの連携と事業支援を重要な柱として、NTTグループ会社から支援と協力をいただきながら、各地方本部・支部等において主体的で創意工夫のある各種施策に取り組み、大きな成果を挙げることができた。

1. 評議員会の開催とNTT代表取締役井伊副社長による講演会の実施



2. 仲間づくりと楽しい電友会活動の実践

- (1) 各地方本部や支部等において創意工夫のある各種活動を展開し、地方本部間・支部間交流での相互交流が更に充実してきた。
- (2) 本部としては、①全国の優良施策、②全国のがんばり屋さん・お国自慢、③女性活動④ボランティア表彰式の模様等を動画やスライドを活用して情報発信し、会員コミュニケーションの充実を図った。



- (3) 第6回全国女性の会を開催し、女性のリーダー24名の参加を得て女性活動の現状の課題と今後の取り組みについて意見交換をした。

講演会では、「NTTドコモ・アグリガールの農業ICTの取り組み」を紹介してもらい、今後電友会との連携・協力を相談検討していく。

また、健康講座を充実していくために、①本社森田さん「上手な医療関係機関のかかわり方」②信越塚田さん「イキイキ健康体操教室」③北海道船登さん「笑いヨガ」の各講座を実施した。

3. ボランティア活動等による世の中への貢献

(1) ボランティア活動による貢献

- ①令和元年度ボランティア活動表彰式が11月20日に東京で行われ、活動賞36件・活動功労賞13件を表彰した。



- ②ボランティア物品支援については、90団体に対して282万円の支援を行った。

- (2) 会員の就労ニーズ支援の観点からNPO法人「アクティブシニア支援機構（ASO）」の取り組みに連携・協力し、就労機会の地方拡大等の動向も考慮しつつ地方本部とASOとの間で意見交換を進めていく。

4. NTTとの連携と事業支援

- (1) NTTが主催する退職交流会や意見交換会等へ会員が積極的に参加し、NTTの動向の理解や事業支援などに取り組んだ。
- (2) 「チームNTT」としてCSR活動に積極的に参加し、NTTの企業イメージに貢献するとともに会員からの販売情報の取次を行った。
- (3) 地方本部等の会報誌にNTTの幹部挨拶や事業動向等を掲載し、事業の理解を深め、広告掲載やチラシ同封等により販売協力やセミナー案内に取り組んだ。

5. 災害に伴う被災会員への対応

令和元年8月から10月に発生した台風15号等の記録的な暴風雨や豪雨により東日本に甚大な被害をもたらし、会員については床上浸水以上の住宅被害が多数発生したことにより、42件240万円の見舞金を贈呈した。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対する対応

令和2年2月から国内で新型コロナウイルスによる感染が拡大してきたことから、地方本部等においては、地元NTTと相談・連携しながら感染の拡大防止に向けた対策に取り組んだ。

7. 会員の確保に向けた取り組みと財務の健全化等

- (1) NTTグループが発行する退職者向け情報誌「ゴールデンループ」へ電友会の活動状況の掲載を機会に約30名の入会希望者があった。今後も各地方本部の取り組みについて継続して掲載していく。
- (2) 首都圏エリアの会員確保については、「検討委員会」で議論してきたが、NTTコミュニケーションから令和2年度を目途に、新たな地方本部を設立したいとの表明があった。

令和2年度「事業計画」

電友会活動の基本は、長寿社会の中で健康で充実したシニアライフを過ごしてもらうことにあり、①仲間づくりと楽しい電友会活動の実践、②ボランティアや就労等の活動を通じた世の中への貢献、③NTTとの連携と事業支援を柱として、会員の皆さんに喜ばれ魅力ある活動に取り組む。

なお、シニア層の関心事は、①体力等に見合った柔軟な就労、②ボランティア活動等を通じた社会参加、③特技や趣味等を生かした仲間づくり、④ウォーキングやスポーツ等による健康づくりなど、様々な生き方の中でシニアライフを楽しむことにある。電友会としては、会員の皆さんの多様な生き方にお役に立てるよう魅力ある活動に取り組んで行くこととする。

1. 仲間づくりと楽しい活動の実践

- (1) 活動の柱であるサークル活動、レクリエーション、講演会等については、会員の仲間づくりと楽しい活動の実践に向け、計画的で創意工夫のある各種施策を展開する。なお、現時点では新型コロナウイルス感染予防を踏まえて、各種活動を自粛しているが、収束後は新たな生活様式を徹底しつつ、会員の絆を強める活動を積極的に展開していくこととする。
 - ①各種会合、アンケート等により、会員の意見・要望を収集するなど会員ニーズに合った効果的な施策を企画・実施する。
 - ②会報誌、ホームページ、ブログ等の活用により活動状況を紹介し、会員コミュニケーションの強化を図る。
 - ③地方本部間や支部間において、情報交換や施策への相互参加など、更に広域交流を深める。
 - ④若手退職者に関心を持ってもらえるような諸施策を検討していく。
- (2) 優良施策をホームページ、ブログ、会報誌等で紹介し積極的に情報発信し全国の連携を深める。
 - ①地方本部や支部等における「優良施策」「全国お国自慢・心の交流会」「全国のがんばり屋さん」「男のQOL」等を紹介し、情報発信を行う。
 - ②健康向上に向けた経費の一部を支援していくとともに、本部ブログ「健康講座の欄」等でその内容を紹介する。
- (3) 地方本部等では、女性のパワーや感性を活かした施策が活発に実施されており、今年度も「全国女性の会」を開催し、施策提案の場として活用する。

2. ボランティアや就労等の活動を通じた世の中への貢献

スキルの社会への還元、定年後の生き甲斐、有意義なシニア生活などの観点から、社会に参加して様々なボランティア活動や就労活動を実践し「活動による世の中への貢献」が長寿社会を豊かにしていくとの理解に立ち、積極的に推奨・支援していく。

(1) ボランティア活動による貢献

- ①広範囲で、様々な分野で実施されているボランティア活動の中から優良活動を発掘・認知し、表彰を行うことで讃えていく。
- ②電友会のボランティア団体に対し、ボランティア活動物品支援金として費用面から支援し、ボランティア活動を推奨していく。
- ③NTTグループのCSR活動に「チームNTT」の一員として積極的に参加し、NTTグループの企業イメージに大きく貢献していく。

(2) 会員の就労ニーズへの対応

NPO法人「アクティブシニア支援機構（ASO）」では就労機会の開拓が進み、令和2年4月1日現在で52業務360名の就労支援が行われており、①NTT東日本と連携した地域住民への防災意識啓発のためのイベント活動への参加、②ICT分野への活動領域を志向した「アクティブシニアICT学修会」の実施など活発な活動が展開されている。電友会としては、ASOの取り組みに積極的に連携・協力していくこととともに、ASOが実施するNTT各社を通じて現役世代に関心をもっていただくための周知・広報活動にも協力していく。

3. NTTとの連携と事業支援

- (1) あらゆる機会を捉えて、NTT事業への理解と協力に取り組むとともに、現役社員と電友会会員の交流を更に促進していく。
- (2) NTTグループのCSR活動については、「チームNTT」の一員として積極的に協力・参加していく。
- (3) NTTグループへの販売協力として会員からの販売情報の取次ぎに取り組む。

4. 自然災害の対応

最近では、大規模な自然災害が発生しており、電友会としては、日頃から緊急連絡体制の整備や自然災害の備えを呼びかけるとともに、大規模な災害が発生した場合には必要に応じて災害見舞金の贈呈を行うなど、会員の安心・安全に向けた取り組みを強化していく。

5. 会員の確保と財務の健全化等

- (1) 令和元年度末の会員数は72,493名となり、平成30年度末に比べ▲2,666名となり、減少傾向に歯止めがかからない状態となっており、今後、最重要課題として取り組む。
- (2) 今年度も、①会員の確保、②会費収納の徹底、③会報誌等の広告掲載やチラシ同封の拡大、④経費の効果的な使用等により、財務の健全化に向けて取り組む。
- (3) NTTコミュニケーションズから、本年度第3四半期を目途、に電友会傘下の地方本部を設立したい旨の正式な依頼があった。電友会としては、懸案であった首都圏エリアでの会員増が期待できること等から「コミュニケーション地方本部」の設立を承認する。